

令和4年度 性教育研修会

～本校における性に関する指導の取り組み～

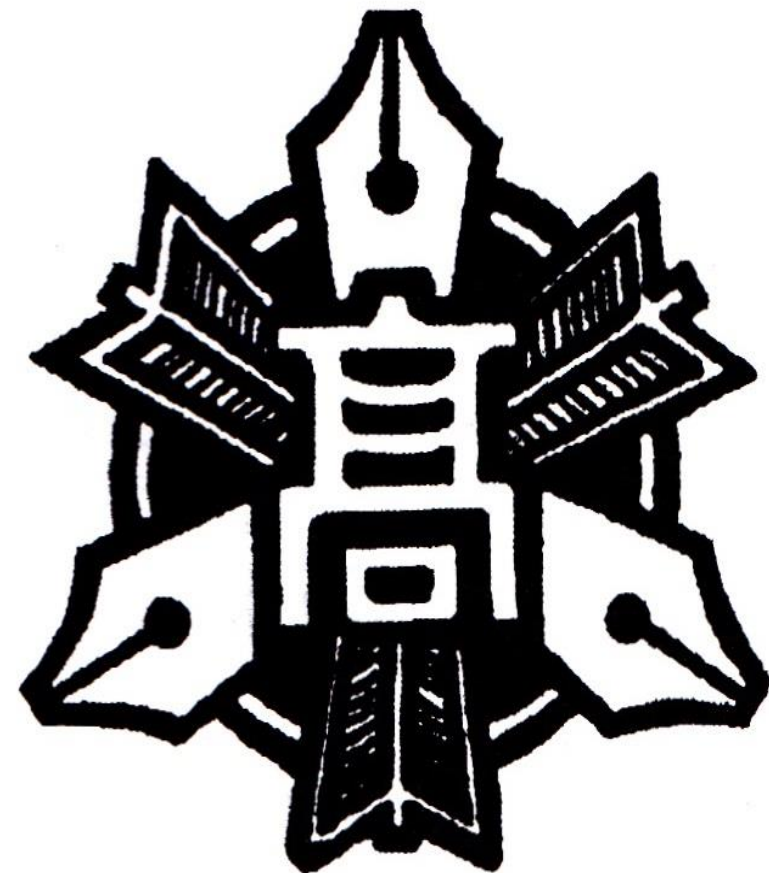
千葉県立九十九里高等学校

1. 本校の概要

おらが町の学校 コミュニティ・スクール
千葉県立九十九里高等学校



©千葉県立九十九里高等学校



< 概要 >

本校は千葉県の九十九里浜の中央部にある山武郡九十九里町に位置し、東金高校の分校（家政科）として設置された。

今年度で50周年を迎え、地域に根付いた学校である。

現在は小規模であることから、アットホームな雰囲気の手厚い指導を行うことができる。

< 校訓 >



○自律 自ら生きる道を求め、

○協同 友と共に歩み、

○誠実 地道に人の道を進む

< 学校教育目標 >

社会で通用する人間の育成

コミュニティ・スクールとして、地域と連携した学校づくりを進める中で、地域の教育力を最大限活用し、社会で通用する人間として調和のとれた生徒の育成を目指す。

目指す生徒像

- (1) マナーやルールを守ることのできる生徒
- (2) 自分の目標に向けて、諦めずに学習に取り組める生徒
- (3) 自分の将来について考え、努力できる生徒

< 本校の特色 >

○コミュニティ・スクールを基盤とし、地域と連携した学校づくり
→総合的な探究・LHR・進路指導等で外部講師の活用

○小規模学校として生徒に対して手厚い指導

在籍生徒数	1 学年	2 学年	3 学年	合計
学 年 3 クラス編成	4 5 名	4 6 名	4 2 名	1 3 3 名

○2 年次よりコース選択制
→自分の進路希望に沿った学習が選択できる

生活デザイン
(服飾系) コース
衣料や服飾デザインに
関する学習をします。

生活デザイン
(食物系) コース
→調理や栄養に
関する学習をします。

ビジネス基礎
(情報系) コース
→簿記や情報に
関する学習をします。

文系進学コース
→文系科目を多く
学び、進学を目指
して学習します。

理系進学コース
→理系科目を多く
学び、進学を目指
して学習します。

2. 本校における性に関する指導の取り組み

(1) 授業における性に関する取り組み

(2) 行事における性に関する取り組み

(3) 今後の課題・検討

(1) 授業における性に関する指導の取り組み

< 保健体育授業による保健学習 >

保健学習	単元	
1年次	1 2. 性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズについての理解・学習
2年次	1. 思春期と健康	思春期の体と心の特徴について理解・学習
	2. 性意識と性行動の選択	性意識や性行動の異性よる違いを学習
	3. 結婚生活と健康	結婚生活における健康について理解・学習
	4. 妊娠・出産と健康	妊娠・出産について理解・学習
	5. 家族計画と人工妊娠中絶	避妊・人工妊娠中絶についての理解

< 家庭科授業による保健学習 >

保健学習	単元	1. 命をはぐくむ
	(1) 人間の愛と性	青年期の性について学習
	(2) 子どもの誕生	生命の創造、母体の健康管理について理解・学習

< 保健授業資料の一部 >

5. 家族計画と人工妊娠中絶

Q1 あなたは将来結婚したら子どもを産みたいと思いますか？ YES・NO

Q2 子どもを産みたいと思う場合、産んで、大人になりたいと思いますか？

Q3 現在、自分、相手が妊娠したら子どもを産みたいと思いますか？ YES・NO

Q4 どの避妊方法を知っていますか？またその避妊方法が適切かどうか分類して書きましょう。

避妊法	小中高	大学	合計	合計
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法
避妊法	避妊法	避妊法	避妊法	避妊法

○コンドームとピルの特徴

避妊方法	コンドーム (男性用)	ピル (女性用)
特徴	・陰茎をゴム製の筒で覆い、挿入時に空気や精子が通入しないようにする。 ・安価で容易に購入できる。	・女性ホルモンを調整し、排卵を抑えることで避妊できる。 ・錠剤を定数と物量が必要。 ・できない。 ・医師の処方が必要。
感染症予防	予防できる	予防できない
副作用	なし	あり

人工妊娠中絶の避妊状況 (避妊なし92%、避妊あり8%)

人工妊娠中絶の避妊の内訳

- 避妊なし 92%
- 避妊あり 8%
- 避妊ありの内訳:
 - 避妊なし 54.7%
 - 避妊あり 41.2%
 - 避妊あり 17.5%
 - 避妊あり 11.9%

人工妊娠中絶で「産むのは女」「産むのは男」

※望まない妊娠を避けるには性交しないもしくは避妊すること。その時の避妊方法を誤らぬ自分自身をコントロールすることが大切です!

(1) 授業における性に関する指導の取り組み

< 授業後の感想 >

- 性に関して正しい知識を得ることができた。
- 望まない妊娠をしないよう知識だけではなく判断をしっかりしないといけないと思った。
- 命は改めて大切だと感じた。
- 自分をコントロールすることが日常からできるようにすることが大切だと思った。
- 避妊の仕方を詳しく学べてよかった。
- 自分には間違った知識があった。
- 人工妊娠中絶について、深く考えさせられた。
- 安易に性行為を行うことはリスクがあることと感じた。
- エイズはただ怖いものだと思っていたので、正しい知識を得ることが大事だと思った。
- 性感染症について知らないことが多かったので知れてよかった。
- コンドームを使うことが大事だと改めて思った。
- 望まない妊娠をしないためにも自分の意志をしっかり持とうと思った。
- コミュニケーション能力はなくてはならないものだと感じた。

(2) 行事における性に関する取り組み

令和3年度「DV予防セミナー」実施

- 会場 九十九里高校 体育館
- 学年 全校生徒 (152名)
- 日時 令和3年7月9日(金)
LHR (50分間)
- 講師 グループSEC 代表 木野麗子様



DV防止セミナーでは、生徒会や先生のロールプレイをはさみながら、体への暴力だけでなく束縛や暴言など、こころへの暴力や性的な暴力もDVとなることや、ジェンダーについても講話頂き、男らしさ・女らしさではなく一人ひとりが自分らしさを決めることが大事であることを学びました。

(2) 行事における性に関する取り組み

令和3年度 保健講話 「性に関する知識のアップデート」実施

- 会場 九十九里高校 体育館
- 学年 全校生徒 (152名)
- 日時 令和3年7月12日(月)
LHR (50分間)
- 講師 亀田医療技術専門学校 助産科吉田先生

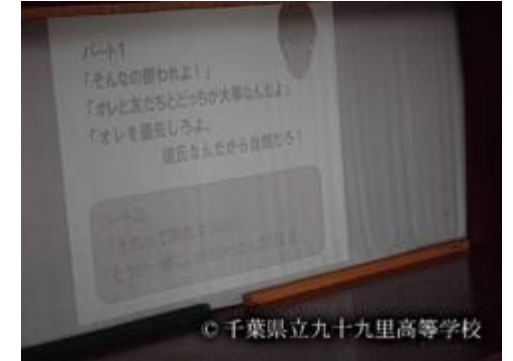
偏った性に関する情報と多様な価値観の混在する社会を生きる上で、正しい知識と思春期の性について、どう考えたらよいかを学ぶことができました。



(2) 行事における性に関する取り組み

令和4年度 「DV予防セミナー」 実施

- 会場 九十九里高校 体育館
- 学年 全校生徒 (133名)
- 日時 令和4年6月27日(月)
LHR (50分間)
- 講師 NPO法人 ウィメンズウィング
ちばスタッフ 秋山敏子 様



DVは夫婦の間のみで起こるだけでなく、付き合っている2人の間に起こる「デートDV」もあるということを学びました。生徒は「Yes」「No」と書かれたパネルを表示して、自分がされてもいいこと、されると嫌なことを考えながら話を聞くことができました。また、生徒会によるロールプレイを通して、相手に嫌な思いをさせないように接するためにはどうすれば良いかを考えることができました。

(2) 行事における性に関する取り組み

< 行事後の感想 >

- ロールプレイの中で、実際に同じ場面はよくあるので、その時は相手の気持ちをよく考えて行動しようと思いました。
- DVは特別なものだと思っていたが、日常生活でも気を付けないといけないと思った。
- 気がつかないうちに自分の考えや都合を押し付けていたり、束縛したりする可能性があると思ったので気を付けていたいと思いました。また、友達が困っていたら助けてあげたいと思いました。
- 自分の一方的な思いで、相手に無理やり嫌なことをさせないようにしようと思った。
- 相手のことを考えて行動することはとても大切だと思った。
- 他人ごとではないなと思った。
- 普段聞けないようなことがたくさんあり、自分も気を付けようと思った。

(3) 今後の課題・検討

- 望まない妊娠、性感染症のリスクについて、より深く指導を行うために男女を分けての指導。
- 授業におけるICT機器の活用を頻繁にし、よりわかりやすい授業を展開すること。
- 学校行事だけではなく、各学年の指導の場でも外部講師を依頼するなど学年での指導も充実させる必要がある。